

# STYLING

VOL.95  
HP  
SINCE1939~  
●[エイチピー]

Photo/Tomoaki Tsuruda(WPP)  
HP Archives  
Text/Teruhiko Doi(WPP)

MONO



HPの社名は二人の創業者  
ビル・ヒューレットとデイブ・パッカートの  
イニシャルから命名。  
同社創業のガレージは  
「シリコンバレー発祥の地」として  
カリフォルニアの歴史的建造物に指定。



テクノロジーの進化ほど  
人類の叡知を実感できる  
ものはないだろう。  
20世紀から21世紀へと続く、  
未来のテクノロジーが  
萌芽した瞬間は  
さまざまに分野に存在するが、  
中でも特筆すべき出来事は  
米ヒューレット・パッカート社が  
1968年に発売した世界初の  
パーソナル・コンピュータ  
「HP9100A」ではないだろうか。  
複雑な計算式を、瞬時に解く  
卓上サイズのコンピュータが  
登場した時、世の中のビジネスは  
大きな進歩を遂げた。同時に、  
コンピュータが今後さらに  
小型化へと進化する  
可能性を未来に教示した。  
社会構造から人々の日常まで  
これほどの変化が訪れることを  
当時誰が想像しえたであろうか。  
1939年にカリフォルニア州  
パロアルトの小さなガレージから  
スタートした企業は、  
この先も革新的なテクノロジーを  
生み出す企業であるために  
2015年、エイチピーインク（HP Inc.）  
として生まれ変わった。  
時代にあわせて企業も常に革新する。  
世界中に未来のテクノロジーを  
実感させてくれている  
革新的企業HPの  
歴史と未来を探って行こう。

# STYLING

## MONO

ブランドのロゴデザインの進化形。  
誰も見慣れたhpロゴが  
長年続いてきたからこそ  
このミニマムな 4 本ラインの新ロゴが際立つ。  
次世代のデジタルデザインをイメージさせる  
ネオモダンな「プレミアムマーク」だ。



デンマークの高級オーディオブランドB&O(バンダグランドオルフセン)のデュアルスピーカーを搭載。モバイルでもサウンドを妥協していない



HPの「Spectre / スペクトル」は世界最薄のモバイルPC。ダークグレーに研磨をかけたブロンズゴールドという斬新な組み合わせはまるで、ヨーロッパのメゾンが発表しそうなラグジュアリーなデザイン。薄型・軽量のエレガントな姿形でありながら、中身はクラス最上級のスペックを誇る。パワフルなモデルとなっている。



プレミアムブランドのシリーズのみに採用されるプレミアムマークも印象的だが、高級家具からインスピレーションされたシリンドーヒンジや、サイバーなイメージのバックライトキーボード、ミニマムな設計思想などその完成度の高さは特筆もの。間違いなく、いま世の中にあるモバイルPCのトレンドとなることだろう。

世界最薄10.4mm(同社調べ)で約1.11kgの超軽量ボディ。それでいてディスプレイは13.3"のフルHD仕様。IPSパネルにゴリラガラス4も採用。●HP Spectre 13/価格13万9800円~(Core i5/256GB SSD)、15万9800円~(Core i7/512GB SSD)

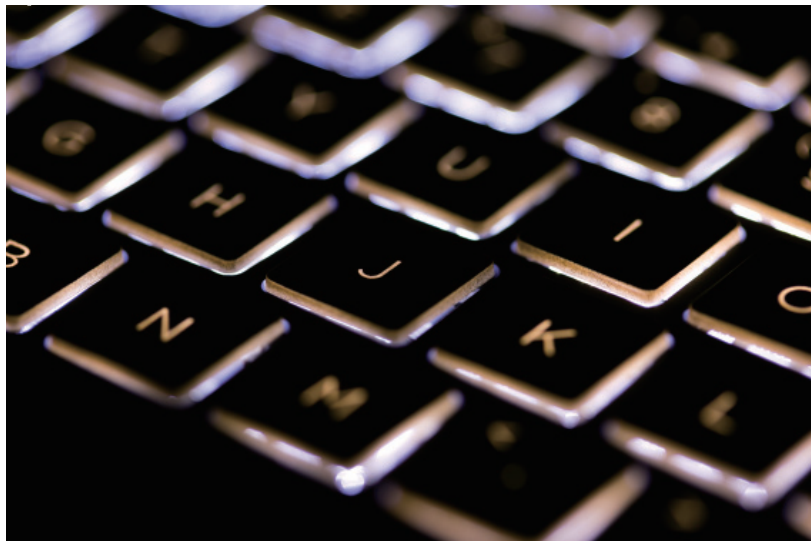




# STYLING

## MONO

1950年代末、グローバル化を目指したHPは  
旧西ドイツのボプリンゲンに製造プラントを設立。  
1963年には日本の横河電機と合併会社を設立。  
また、早い時期から中国との交渉窓口として  
積極的なグローバル化を図っていた。



数あるHPの歴史的名品の中でも、もっとも有名な製品のひとつ、  
世界初のパーソナル・コンピュータ[HP 9100A]。

日本に初の合弁会社を設立した。66年にはHP研究所を設立。民間企業の研究センターとして、世界の主力研究所のひとつに数えられたHP研究所により、新たな開発の歴史が幕を開けた。またこの年、同社は初のコンピュータ「HP 2116A」を開発し、コンピュータ事業に参入。68年には世界初のパーソナル・コンピュータ「HP 9100A」を発表。卓上サイズのコンピュータは、これまでのコンピュータのイメージを覆す歴史の製品となった。72年には後

にフォーブスASAAP誌が「世界を変えた20品目」に選定したハンドヘルド関数電卓「HP-35」を発表。まさに現在のスマートフォンのようなデザインだった。77年にはデジタルウォッチと計算機「スケジュール帳を組み合わせた腕時計型計測器「HP-01」を発表。未来を先取りした製品だった。

を発表。その後、個人向けから法人向けまで、プリンターを始め大型の機械まで幅広いコンピュータ関連機器を備える世界的ブランドとして一般の人々にも知られる存在になった。

そして誕生から76年後の2015年、これからも世の中に革新をもたらすテクノロジーを創出する企業であり続けるために分社し、エイチピーインクが誕生。企業ロゴは変えず、PCおよびプリンティング関連製品とサービスに特化した新生HPとして新たな一歩を踏み出した。2016年前半には、一台でスマホ、ノートブックPC、デスクトップPCの機能を持つ革新的なデバイス「HP Elite x3」や3Dプリンターを発表。創立時の精神はそのままに、変化のスピードが加速する社会、時代に必要とされる、未来のテクノロジーを切り開いている。

シリコンバレーの歴史的発展は、すべて同社から始まったと言っても過言ではない。

### HPから始まった ビジネススタンダード

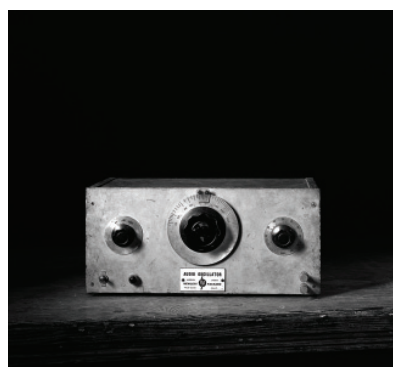
偉大な一人の創業者は、世界を変えようとする製品を世に送り出したのではなく、新しい時代の経営スタイルに革新をもたらした経営者として知られる。1940年代にはオープンドア・ポリシーの社風を確立し、社員の高額医療保険の提供や持ち株制度などを採用。米国企業として最初に勤務時間のフレックスタイムを採用したのは同社だ。仕切りや扉のない役員室や、お互いをフリーストームと呼び合う自由な社風は、後に彼らを目指してシリコンバレーで起業した多くの会社が参考にした経営スタイルとなった。



創業のガレージは2005年に修復。シリコンバレー発祥の地としてカリフォルニア州歴史的建造物第976番に指定。



オープン・フロアを採用した最初の自社ビル。急増する電子機器の需要に流れ作業で対応。1942年撮影。



記念すべきHP初の製品、オーディオ発振器。ディズニー社が8台購入し「ファンタジア」制作に寄与した。

アメリカは歴史的に発明家や起業家を数多く輩出しているが、これは19世紀に勃発した南北戦争（1861〜1865年）の影響が大きい。北軍の勝利でアメリカは工業社会へと進み始め、人権や土地の権利意識を持った人々が増え、知的所有権や意匠権、製品の特許などで利益を得られることを知るようになった。エンジンが活躍したのもまさにこの時期。以降、発明や起業は知恵とアイデアがあるアメリカ人なら誰もが抱く、アメリカンドリームとなった。1939年、スタンフォード大学の同級生だったビル・ヒューレットとデ

イブ・パッカードが、カリフォルニア州パロアルトの小さなガレージでヒューレット・パッカードカンパニーを起業したのも、そんな社会風土が影響していたのかもしれない。彼らのパロアルトのガレージで作られた最初の製品はオーディオの発振器。全米でラジオ放送が始まり、蓄音機が飛ぶように売られていた時代、同社最初の製品「200A」は音響技師が使用する電子計測機器だった。若くて才能ある二人のエンジニアの製品はすぐに顧客がつくようになる。その中にはあのウォルト・ディズニー・スタジオもあつた。ディズニーが映画「ファンタ

ジア」で採用する音響システムの開発、テスト用としての発振器をカスタマイズした「200B」を8台購入したという記録が残っている。

40年代になると、彼らの製品はエンジニアや科学者の間で評判になっていく。やがて第二次世界大戦で米国政府の電子機器需要が急激に増加し、パロアルト市内に最初の自社ビルを建造。現代のハイテク企業ではお馴染みのオープン・フロアの職場を作り上げた。50年代後半には株式市場を果たす。組織が急速に拡大する中、グローバル化を目指して欧州へ進出。63年にはアジア市場への先駆けとして、

## ディズニー映画、世界初のパーソナル・コンピュータに スペースシャトルまで、史上最高の万能企業HP

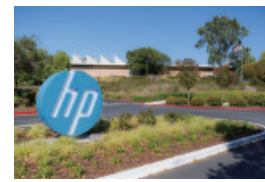


↑創業当時の様子。  
→同社初の個人用情報機器「HP-01」。1977年当時この未来観を実現していたことが、HPという企業の先見性を物語っているのではないかと、現代のIoTの原点がある。





# STYLING



↑シリコンバレーの同社本社。  
 →左:デイブ・パッカー、右:ビル・ヒューレット。共に経営者でありながらデイブは米国防総省副長官に、ビルは国家科学諮問委員に任ぜられたこともある。まさにアメリカを代表する企業と経営者である。

## MONO



HPの製品に関するお問い合わせは  
 カスタマー・インフォメーションセンター  
 ☎0120-436-555  
 (☎03-5749-8291)  
<http://www.hp.com/jp>



### HP Elite x3



次世代コンピューティングの形として掲げるHP Elite x3。モバイルデバイスと電話機能を持つ1台。より高まった利便性と、パソコンの生産性を実現しているのはさすが。価格未定

### HP Elite x2 1012 G1



タブレットの薄さ・軽さ、ノートパソコンの機動性を持つ1台。デスクトップパソコンの拡張性と生産性を豊富なオプションとの組み合わせで実現する12インチの3 in 1タブレット。価格9万9800円～

### HP Spectre13 x360 Limited Edition



Bang & Olufsen創業90周年を祝した特別記念モデル。360度ディスプレイが回転し、利用シーンに応じて最適な使い方ができる。上質なデザインのモバイルノートPC。価格12万9800円～

### HP EliteBook Folio G1



なんと、1kgを切るコンパクトさが売りの12.5インチモバイルノート。軽量小型ながら米軍MILスペックにも準拠した頑丈設計は、こだわるファンには嬉しいニュースだ。価格14万8800円～

### HP Pavilion 15



スタンダードな15.6インチのノートPC。好みに応じてホワイト系、ゴールド系のカラバリから選択可能。用途や予算に応じ、豊富なラインアップから好みの1台をセレクトできる。価格6万9800円～

### HP ENVY 17



高精細で視野角の広い17.3インチフルHDディスプレイ搭載。映画やゲーム、音楽などのエンターテインメントを存分に楽しめる、ハイエンドのノート。価格14万9800円～